

大阪公立大学と新たな包括連携協定を締結しました

堺市と大阪公立大学（本部：大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7号 学長：辰巳砂 昌弘）は、相互の連携を強化し、大学の多様な研究分野を活かした社会課題の解決や地域の発展に向けた取組を進めることで、産学官連携による新たな価値の創造をめざし、新たな包括連携協定を締結しました。

1 日時

令和6年3月28日（木）午後4時～午後4時25分

2 場所

大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A11棟 3階 南大会議室（堺市中区学園町1番1号）

3 出席者

大阪公立大学	学長	辰巳砂 昌弘
	副学長	櫻木 弘之
	副学長	藤村 紀文
	学長補佐	堀邊 英夫
堺市	市長	永藤 英機

4 連携内容

- （1）「総合知」を活用した社会課題の解決と社会実装を見据えた研究の推進
- （2）イノベーションを生み出す新たな技術やサービスの創出に向けた取組の推進
- （3）暮らしの質の向上に繋がるスマートシティの推進
- （4）豊かな国際感覚を養う国際交流の推進
- （5）未来を切り拓く力を育む人材育成の推進

※堺市と大阪公立大学との新たな包括連携協定の詳細については、堺市ホームページをご覧ください。

【大阪公立大学との取組】

URL : https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/toshi/scd/daigaku_torikumi/torikumi_omu.html

5 永藤市長のコメント

大阪公立大学との新たな包括連携協定の締結をととても嬉しく思います。

堺市と大阪公立大学は、2008年に統合前の大阪府立大学と基本協定を締結し、多岐にわたる分野で連携して取組を進めています。また、「NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム」をはじめとする協議会や審議会等についても知見をいただくなど尽力されています。

今回の包括連携協定は、社会課題の解決やイノベーションの創出、スマートシティ推進、国際交流、人材育成などの項目について、これまでの基本協定から更に具体的で実効性のある内容としています。

また、中百舌鳥キャンパスにおいて整備が進む「イノベーションアカデミー共創研究拠点」は、本市がめざす「中百舌鳥イノベーション創出拠点」の実現に向けても意義深いものです。

連携を更に深め、未来に向けて挑戦することにより、堺市と大阪公立大学の双方の発展・成長に繋がることを期待します。

6 辰巳砂学長のコメント

本日、堺市と包括連携協定の締結式を滞りなく挙げてきたことを大変嬉しく思います。

堺市とは統合前の大阪府立大学の頃から、様々な分野で連携し、関係を深めてきました。2022年には大阪公立大学として開学し、現在は産学官民共創による新たな価値の創造をめざす「イノベーションアカデミー構想」を掲げ、中百舌鳥キャンパスをイノベーション創出拠点とするために多様な研究や「総合知」を活かした社会課題の解決に向けた事業推進を行っています。

企業の皆様からは、堺市と連携し「イノベーションアカデミー構想」を実現するようにと、多額のご寄附をいただきました。この寄附を有効に活用し、中長期的な計画のもと、大阪公立大学と堺市の持続的な発展につながる事業を行います。

この包括連携協定が、堺市、大阪府だけでなく、日本や世界の教育研究、科学技術の発展に貢献できるものとなることをめざします。

7 協定締結の様子



左から辰巳砂学長、永藤市長

問い合わせ先	<p>(包括連携協定に関する堺市の取組について)</p> <p>担 当 課：市長公室 政策企画部 公民連携担当</p> <p>電 話：072-228-0289</p> <p>ファックス：072-222-9694</p> <p style="text-align: right;">さかいの未来を共に創るために。 Connect with... さかい・コネクテッド・デスク</p>
	<p>(包括連携協定に関する大阪公立大学の取組について)</p> <p>担 当：大阪公立大学 総務課</p> <p>電 話：06-6605-2010</p> <p>メ - ル：gr-somu@omu.ac.jp</p>

堺市と大阪公立大学との包括連携協定書

堺市（以下「甲」という。）と大阪公立大学（以下「乙」という。）は、相互の連携を強化し、大学の多様な研究分野を活かした社会課題の解決や地域の発展に向けた取組を進めることで、産学官連携による新たな価値の創造をめざし、次の協定を締結する。

（連携事項）

第1条 甲と乙は、前文の目的を達成するため、次に掲げる分野について連携し協力する。

- (1) 「総合知」を活用した社会課題の解決と社会実装を見据えた研究の推進
 - (2) イノベーションを生み出す新たな技術やサービスの創出に向けた取組の推進
 - (3) 暮らしの質の向上に繋がるスマートシティの推進
 - (4) 豊かな国際感覚を養う国際交流の推進
 - (5) 未来を切り拓く力を育む人材育成の推進
 - (6) その他前文の目的に関すること
- 2 甲と乙は、前文の目的を達成するため、随時協議を行い、連携して取組を進めるものとする。

（協議の場の設置）

第2条 前条の事項の円滑かつ効果的な推進のために、甲及び乙の代表者が定期的に会談を行い、連携方針等を共有する。

- 2 前項で共有した方針等を踏まえ、連携推進に向けた協議や事業の進捗管理等を行うために、甲と乙で構成する「連携協創推進ラボ」を設置する。
- 3 前項の「連携協創推進ラボ」に関して必要な事項は別に定める。

（経費）

第3条 第1条に定める事項の実施に要する経費は、原則として甲と乙において各々応分に負担することとする。

（有効期間）

第4条 本協定の有効期間は、本協定締結の日から令和7年3月31日までとする。ただし、期間満了の1か月前までに、甲または乙のいずれからも書面による申し出がない場合は、更に有効期間を1年間更新するものとし、その後も同様とする。

(その他)

第5条 本協定に定める事項に関する細目については、甲と乙が別途協議して定めることとする。

2 本協定に定めのない事項又は本協定に定める事項に関し疑義等が生じたときは、甲と乙は誠意をもって協議し、これを取り決めるものとする。

以上、本協定締結の証として、本協定書2通を作成し、甲乙それぞれ署名の上、各々1通を保有する。

令和6年3月28日

甲 大阪府堺市堺区南瓦町3番1号

堺市

堺市長 (自署)

乙 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目2番7号

大阪公立大学

学長 (自署)

主な取組内容

(1) 「総合知」を活用した社会課題の解決と社会実装を見据えた研究の推進

◎ 大阪公立大学協創推進事業による共同研究等の実施

企業版ふるさと納税を活用し、行政課題の解決や堺市基本計画 2025 で設定する KPI の達成等に向けた共同研究や実証プロジェクトを実施します。

◎ イノベーションアカデミー構想の実現に向けた取組の実施

産学官民が課題を共有し、都市シンクタンク機能の発揮により、社会実装に向けた実証実験や研究等を行います。

(2) イノベーションを生み出す新たな技術やサービスの創出に向けた取組の推進

◎ 中百舌鳥イノベーション創出拠点の形成

中百舌鳥エリアにおいて、大阪公立大学の高度な研究シーズや起業家精神が醸成された学生の強みを生かし、社会課題解決のためのプロジェクトを創出、総合知を活かした社会実装を推進する拠点を形成します。

◎ 大阪公立大学の研究シーズと市内中小企業等とのマッチング

大阪公立大学の学術的な知見や研究シーズと市内中小企業等をマッチングし、新たな事業やサービス等を創出します。

(3) 暮らしの質の向上に繋がるスマートシティの推進

◎ 泉北ニュータウン地域におけるスマートシティの推進

SENBOKU スマートシティコンソーシアムでのヘルスケアやモビリティ推進への知見の共有や研究により、スマートシティの実現に向けた取組を行います。

(4) 豊かな国際感覚を養う国際交流の推進

◎ 多様な文化の体験による国際感覚の醸成

学校園への留学生や講師等の派遣、姉妹・友好都市との交流により、多様な文化に触れることができる機会を提供し、豊かな国際感覚の醸成に取り組みます。

◎ 最先端の知見や多様な価値観の共有

子どもや学生、研究者、地域住民が大阪公立大学で開催される国際学会へ参加し、多様な分野の最先端の研究に触れることで、新たな知的発見や多様な価値観の理解に繋がります。

(5) 未来を切り拓く力を育む人材育成の推進

◎ 起業家精神を育む環境の整備

アントレプレナーシップ教育プログラムの実施や S-Cube でのアクセラレーションプログラム等での連携により、未来のイノベーション創出を担う高度研究人材の育成に取り組みます。

◎ 子どもの可能性を広げる教育環境の向上

小中高校生への専門的な研究活動支援や教員のスキルアップ支援、科学教育への支援等を通じて、子どもの経験の幅を広げます。